

令和8年度 第1回 研究評価委員会

開催日時

令和8年9月14日（月） 13：30～17：00

1 令和8年度新規課題事前評価対象課題と評価結果

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
黒毛和種雌牛の適正なビタミンA制御体系の検討 (大家畜研究課 R9-R12)	3.5	3.0	4.5	4.3	15.3

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

高品質な牛肉を生産するためのビタミンA制御技術について、農家や県（研究所）が取り組んでいることを殆どの消費者は知らない。このような取り組みを消費者にアピールしていくことも必要である。

	必要緊急性	新規独創性	達成の可能性	期待される成果	合計
豚の安定的な生産に向けた暑熱対策の検討 (中小家畜研究課 R9-R11)	4.0	3.0	3.8	4.0	14.8

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

・アミノ酸、機能性物質、給与形態（ドライあるいはウェット）の3つ検討だけで、暑熱対策に対応が可能であるか再検討する必要がある。
・暑熱対策として、農家が施設改修を図るには、コストと経済性のバランスなど制限があるため、様々な方策を提案することが重要と考える。

※事前評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により4名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 必要緊急性

5点：極めて緊急に必要である

2点：緊急に必要ではない

4点：緊急に必要である

1点：ほとんど緊急でも必要でもない

2. 新規独創性

5点：極めて新規性も独創性も高い

2点：新規性も独創性も低い

4点：新規性も独創性も高い

1点：ほとんど新規性も独創性もない

3. 目的達成の可能性

5点：極めて可能性が高い

2点：可能性が低い

4点：可能性が高い

1点：ほとんど可能性がない

4. 期待される効果

5点：大いに期待できる

2点：あまり期待できない

4点：ある程度期待できる

1点：ほとんど期待できない

2 中間評価対象課題と評価結果

	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
地鶏種鶏の種卵・雛安定生産に向けた暑熱対策の検討 (中小家畜研究課 R 7－R 9)	4.0	4.0	3.5	3.5	15.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

試験設計上の制限はあると考えるが、反復数を増やすことで対象資材の有効性がより明確になるので検討頂きたい。

	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
ゲル培養体外胚の有効性の検討 (家畜改良繁殖研究課 R 7－R 9)	4.0	4.5	4.3	4.0	16.8

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

いわゆる基礎研究の分野であり、専門的な内容を理解することは難しいが、直ぐに実用化に結び付かない取組みであっても、粘り強く続けていくことが重要である。

	進捗状況	得られた成果	目標達成の可能性	課題の取扱い	合計
熱ショックたんぱく質による耐凍性の高い体外胚の作出 (家畜改良繁殖研究課 R 7－R 9)	2.0	4.0	3.5	4.5	14.0

○ その他特記事項等（評価委員コメント）

いわゆる基礎研究の分野であり、専門的な内容を理解することは難しいが、直ぐに実用化に結び付かない取組みであっても、続けていくことが大切である。

「（ゲル培養体外胚の有効性の検討）と合わせた一括のコメント」

※中間評価結果の数字は、各評価項目について、次の判断基準により 4 名の評価委員が評価した点数の平均値です。

1. 進捗状況

5 点：予定以上に進んでいる

4 点：ほぼ予定どおりに進んでいる

2 点：予定どおりに進んでいない

1 点：ほとんど予定どおりには進んでいない

2. 得られた成果

5 点：期待以上の成果が得られた

4 点：ある程度の成果が得られた

2 点：あまり成果が得られていない

1 点：ほとんど成果が得られていない

3. 目標達成の可能性

5 点：極めて可能性が高い

4 点：可能性が高い

2 点：可能性が低い

1 点：ほとんど可能性がない

4. 課題の取り扱い

5 点：飛躍的に取り組みを強める

4 点：取り組みを強める

2 点：取り組みを緩める

1 点：むしろ中止すべきである